

P R E S E N T A T I O N

# 易分解構造から見るリサイクル

高田 章平

## 易分解構造

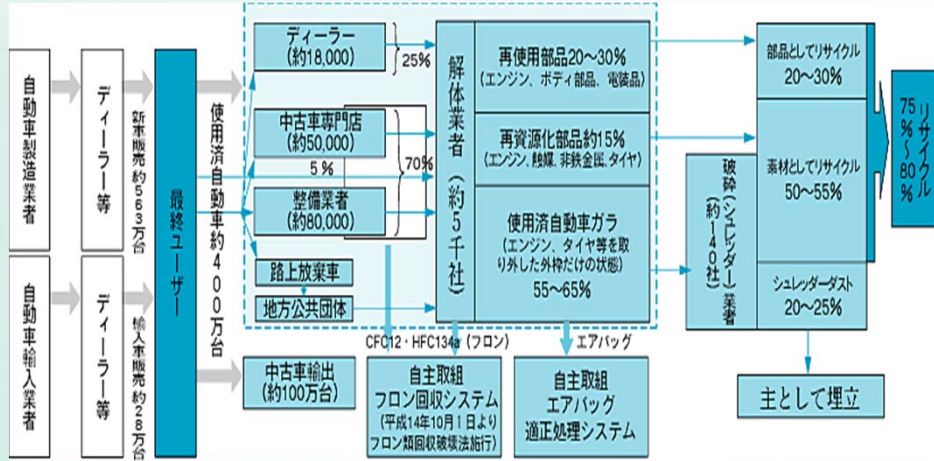
・商品を製作する段階で分解時のことを  
考えて壊しやすくなるような設計を用いること



解体性向上マーク(例)

# 資源循環

自動車のマテリアルフロー図



(参照[http://www.jama.or.jp/lib/jamareport/093/01\\_t1.html](http://www.jama.or.jp/lib/jamareport/093/01_t1.html))

# 自動車

## 特徴

- ・多くの資源 (鉄、アルミニウム、樹脂、レアメタルなど)
- ・市場の大きさ (日本の一般廃棄物の7~8%)
- ・リサイクル率余地 (80%→95%)

## 企業とリサイクル

### 車の価値

「燃費」、「価格」、「デザイン」・・・「構造??」

→企業にとってどのようなメリットがあるのか？

5

## 企業とリサイクル

### □ わかったこと

まだまだ現地レベルでは認識されていない

車業界の他の家電とはことなる体系

6

## 易分解構造をひろめる

- 易分解構造の有効性の周知
- リサイクル料金表示の工夫
- ソーシャルマニュファクチャリング

7

## 具体的な取り組み

- 京都大学・竹かご型電気自動車



- 秋田県・鷹巣技術専門校の木製自動車



8

## 参考資料

- 「資源循環型社会のリスクとプレミアム」 細田 衛士 慶応義塾大学出版社
- 「組立性・分解性設計」 山際 康之 講談社
- 「竹かご型電気自動車」 <http://takenoshiz.exblog.jp/15837469>
- 「秋田県公式WEBサイト」

<http://www.pref.akita.lg.jp/www/contents/1226621514288/index.htm>

「マテリアルフロー図」

「トヨタ自動車」 <http://www.toyota.co.jp/jp/kids/eco/recycle.html>